

2-WS2-6) 口腔カンジダ症の予防

How to Prevent Development of Oral Candidiasis

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院口腔外科

Department of Oral Surgery, Kagoshima University Hospital Dental Clinic

上川 善昭

KAMIKAWA Yoshiaki



・口腔カンジダ症はどのようにして発症するのか。

口腔カンジダ症はヒトの免疫力低下による日和見感染として、また、口腔常在菌叢の破綻により口腔常在菌であるカンジダが増加した菌交代現象として発症する。

・口腔カンジダ症を予防するにはどうすればよいか。

口腔カンジダ症の予防では、ヒト免疫力の向上、口腔常在菌叢の保持が必要である。免疫能を向上させるには、全身的には、正常な咬合機能を保ち摂食能力を向上させ栄養・熱量の摂取量を増やすことである。局所的には、正常な咬合機能を保ち唾液分泌を促し自浄能を向上させ、保湿による粘膜保護を向上させることである。義歯による口腔機能の保持・改善が重要であるが、義歯材料にはカンジダが附着しやすく義歯はカンジダの温床となりやすいので注意を要する。消毒薬を用いた口腔洗浄や含嗽を長期間続けたり、

抗菌薬を漫然と連用したりすることにより、多くの常在細菌が減少しカンジダが増殖する。口腔常在菌叢を保持するには、口腔洗浄では消毒薬を用いずに機械的除去を行うなどの工夫が必要である。その他、義歯洗浄ではカンジダに着目した洗浄が有効である。

演者らはカンジダ鶏卵抗体を用いた口腔カンジダの口腔上皮や義歯床への付着抑制や、ナノ銀粒子を義歯床へ担持させて抗カンジダ性を発現させる研究について報告してきた。その成果が産学連携により実り、カンジダ鶏卵抗体はオバルゲン CA として、ナノ銀粒子の義歯床への担持は義歯抗菌加工として実用化された。この新しい、口腔カンジダ予防法の有効性についても概説する。

2013年初夏、輝く青葉のあいだから桜島山の噴煙をあおぎ見ながら

略歴

【学歴・職歴】

- 1991年 鹿児島大学歯学部歯学科卒業
- 1995年 鹿児島大学大学院歯学研究科単位取得後退学
鹿児島大学歯学部附属病院医員（第一口腔外科）
- 1996年 健康保険人吉総合病院歯科医長
- 1998年 博士（歯学）鹿児島大学歯研79号
- 1999年 健康保険人吉総合病院歯科口腔外科部長
- 1999年 フンボルト大学口腔外科（独連邦、ベルリン）留学
- 2000年 鹿児島大学歯学部附属病院第一口腔外科助手
- 2004年 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院口腔顎顔面センター・口腔外科助手
- 2009年 鹿児島大学病院診療講師・口腔外科 以後現在に至る。

【所属学会】

日本口腔外科学会、日本口腔内科学会、日本歯科薬物療法学会、日本化学療法学会、日本エイズ学会、日本医真菌学会、日本唾液腺学会、日本細菌学会、European Association of Oral Medicine (EAOM)、International Association for Oral and Maxillofacial Surgeons (IAOMFS)、日本歯科薬物療法学会評議員、教育担当理事、日本歯科薬物療法学会雑誌査読委員、日本歯科薬物療法学会抗真菌薬効果判定委員会委員、日本口腔感染症学会評議員

【賞罰】

- 全国社会保険基金連合選抜留学生（1999-2000年）
- Medaltis Awards 受賞（2007年日本口腔外科学会総会）
- 優秀ポスター賞（2011年日本口腔腫瘍学会総会）
- 優秀発表賞、最優秀ポスター賞（2012年日本有病者歯科医療学会）

【資格等】

歯科医師免許、臨床検査技師免許
（社）日本有病者歯科医療学会認定医、指導医、
（公社）日本口腔外科学会専門医（1400号）、歯科薬物療法学会治験担当者、Infection Control Doctor (ICD 制度協議会、OP61号)、
日本化学療法学会抗化学療法認定歯科医師、
がん治療認定医（歯科口腔外科）